

# 佐賀市 18 歴史探訪

きゅう こ が け いた ど

## 旧古賀家の板戸 (佐賀市歴史民俗館)

日頃見慣れている風景の中にも、何度も見なおしてみると、思わぬ発見をすることがあります。今回は、佐賀市柳町に所在する旧古賀家を取り上げます。

旧古賀家は、古賀銀行の頭取、古賀善平の住宅で明治17年に建築されたものです。明治期の実業家の住宅遺構として貴重な存在であり、隣接する旧古賀銀行、旧牛島家、旧三省銀行とともに、これまで整備・活用に努めてきたところです。

佐賀市歴史探訪10で高伝寺の板戸(杉戸)や<sup>ついでに</sup>衝立が、「佐賀城の御殿ごてんに使われていた可能性がある」ものと紹介しましたが、これと同様のものかもしれない板戸が、旧古賀家の1階大広間北側の押入と、2階廊下の押入にも使われています。板戸に描かれている絵は高伝寺にあるものと比べると、その保存状況は好ましいものではありませんが、猿・海・流水・人物などが両面に描かれています。

板戸絵は、両面に描かれている場合は、どちら側からも鑑賞できる箇所に用いられます。旧古賀家の板戸は、裏からは鑑賞できない「押入」に用いられていますので、どこかの建物からの「転用」と考えられます。

この板戸についての記録は何も残っていませんので、想像の域を出ませんが、もしかしたら、佐賀城の建物か重臣屋敷に使われていたのかも知れません。

旧古賀家を利用される際、探して見ませんか。



▲旧古賀家



▲旧古賀家1階にある板戸



▲旧古賀家2階にある板戸

